

体験授業プログラム

体育学科の醍醐味 理論と実践の融合 ～カラダを作り上げる～

体育学部 体育学科 岡田 隆 教授・菊池 直樹 准教授・清水 咲子 助教

体育学科では教員養成、コーチ養成、アスリート養成、トレーナー養成などを基盤とし、広く社会でリーダーシップをとることができる人材の育成に取り組んでいます。今回のオープンキャンパス体験授業では、ボディメイクの理論と実践に取り組む岡田隆教授、競泳のオリンピックである清水咲子助教、トレーニング学を専門とする菊池直樹准教授が「カラダを作り上げる」をテーマとし、聴講者も交えてディスカッションを展開し、スポーツに関するさまざまな学問を学ぶことができる体育学科の醍醐味を感じていただこうと思います。

時間 - 11:20 ～ 12:00 場所 - 4号館1階 4105 教室

うまい人の動きを調べる：スポーツにうまくなるコツ

スポーツ文化学部 武道教育学科 阿江 通良 教授

スポーツにうまくなるコツの1つは、うまい人の動きをまねることです。体育スポーツ分野で、優れた選手やうまい人の動きを力学的に調べ、研究する分野をスポーツバイオメカニクスと言います。この体験授業では、うまい人の動きをどのようにして調べているのか、どのようなことがわかるのかなどを、陸上競技、柔道、クラシックバレエのビルエット動作などの分析例や動画スティックピクチャーを示しながら説明します。

時間 - 12:30 ～ 13:10 場所 - 4号館1階 4106 教室

レジャーマネジメント論：「レジャーと観光の関係、それらの現状と課題について」

スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科 竹腰 誠 教授

レジャー（余暇活動）を管理・運営する方法を学び、マネジメントするための知識を身につけることは非常に重要なことです。これからの社会生活において、スポーツやレジャーを通じて豊かな生活をつくり出すために、生活内にある自由な時間を有効に使うための知識を身につけることが体育大学で学ぶ私たちには必要な時間となります。今回の模擬授業では、3年前期に行われている「レジャーマネジメント論」の授業を行います。大学生になったような気持ちで受講をしてみてください。

時間 - 12:30 ～ 13:10 場所 - 8号館3階 8301 教室

日本の子どもの睡眠事情と快眠生活のヒントを知ろう！

体育学部 健康学科 鹿野 晶子 准教授

「朝、なかなか起きられない」「夜、なかなか寝つけない」「日中、眠くなってしまおう」という方はいませんか？今の日本では、そのような睡眠問題に悩む子どもたちの存在が全国的に心配されています。本日の授業では、日本における最近の子どもの睡眠事情を紹介します。併せて、自分自身の睡眠状況についても確認していただけます。その上で、どうしたら快眠生活を構築できるのか？ヒントになるような研究知見を紹介します。

時間 - 13:40 ～ 14:20 場所 - 4号館1階 4105 教室

「スポーツ国際実習」オリエンテーション

スポーツ文化学部 スポーツ国際学科 金田 英子 教授

オープンキャンパスでは毎回、「スポーツ国際実習」に関する質問が多く寄せられます。そこで、スポーツ国際実習では実際にどのようなことを行うのか、実習先での様子をふまえつつ、最初のオリエンテーションをシミュレーションしてみます。

時間 - 13:40 ～ 14:20 場所 - 4号館1階 4106 教室

スポーツインライフへ向けた『スポーツ・レクリエーション指導者』の役割

スポーツマネジメント学部 スポーツライフマネジメント学科 馬場 進一郎 教授

スポーツを通じた活力ある「共生社会」を実現するために、どのような取り組みが考えられるか。レクリエーションの主旨と個人的・社会的便益を確認した上で、スポーツ・レクリエーション活動から今日的課題について紐解いてみましょう。

時間 - 11:20 ～ 12:00 場所 - 8号館3階 8301 教室

「子どもと運動」にまつわるウソ・ホント！？

児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 須永 美歌子 教授

「子どもの筋肉と大人の筋肉は違う？」「筋力トレーニングをすると背が伸びなくなる？」など、世の中には子どもと運動にまつわる様々な情報が出回っています。この授業では、そんな気になる情報について、科学的な根拠に基づいて解説します。子どもに安全で効率的な運動指導をしたいと考えるのであれば、ぜひ最新のスポーツ医・科学の知識を学んでいただきたいです。

時間 - 12:30 ～ 13:10 場所 - 4号館1階 4105 教室

手に包帯を巻いてみよう！

保健医療学部 整復医療学科 松田 康宏 准教授

柔道整復師が行う施術の中で身につける必要がある重要な技術の一つに包帯法があります。包帯法は、怪我をした患部を覆う役割や患部の動きを制限して患部の安静を図るなど様々な役割があります。今回の体験授業では実際に「手」に包帯を巻いて頂きます。簡単に巻けそうですが、大変難しいと思います。柔道整復師を目指すための技術の入門となる体験授業です。是非チャレンジしてみてください。

時間 - 11:20 ～ 12:00 場所 - 9号館2階 9201 教室

Virtual Reality を使用した心肺蘇生法講習会

保健医療学部 救急医療学科 原田 諭 救急救命専門指導教員

救急医療学科では、救急医療、蘇生医療、災害医療をそれぞれ国際な立場で実践活動・指導できる救急救命士を養成しています。蘇生医療の中でも、一刻を争う心停止傷病者に対する心肺蘇生法は、「心停止と判断できる」、「119番・応援要請ができる」、「胸骨圧迫ができる」ことが重要です。体験授業では救急医療学科の学生も参加し、救急指導医監修のもと作成したVirtual Reality 教材コンテンツの中から、心肺蘇生法を体験していただけます。

時間 - 13:40 ～ 14:20 場所 - 8号館1階 8101 教室